

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり名古屋校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅の広い分野の職員がいる	保育士や教員などを経て入社した職員や大学で心理や保育を学んだ指導員がいる為、多角的な視点からプログラムを組み立てることができます。その為、療育においても学習支援においてもそれぞれに対応した職員がいる事で、幅広い支援を提供することができています。また在籍歴の長い職員が自身の経験をもとに他職員にアドバイスすることもできます。	現在担当制であるが、追加で入った際には担当以外の職員とも関わり、直接支援を通して、多角的な視点からお子さんの状況を検討できるようにしていきたいです。
2	運動やイベント、サーキットトレーニングなどを日頃から沢山提供している	本校はパーテーションやカーテンなどを使用して部屋を区切ったり、机の配置を自由に変えたりすることができます。その為、体を動かす活動やイベントなどその時の用途にあわせて最も適した配置を毎回検討しています。	新たな使い方(集団や何か広さを必要とする療育方法)を検討し、利用者様に提供できるようにしていきたいです。
3	手作りの教材、壁面飾りが多い	本校の特徴として手作り教材が多いことが挙げられます。その為、利用者様の抱える問題の課題解決に向けてオリジナルの教材で支援をさせて頂くことが可能です。また、教材だけでなく掲示なども季節ごとに毎回変更している為、そういった部分でも子供たちの興味関心を上げられるよう工夫しています。	利用者様の興味関心を引き立たせるような物を作成したいと考えています。また年齢に適した教材を考えることができるように、困った時には校舎で話し合っ進めることができるような環境づくりをさらに進めて行きたいです。イベントでは児発のお子さんのように年齢が小さいお子さんでも楽しめるような企画も考えたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育をやっていない事	現在個別活動が主である為、集団療育を行うことはできていません。この要因には本校では個別療育を求めている保護者様・利用者様が多いことが挙げられます。また集団療育をするための利用者様の日程の調整も課題になっています。	職員間で集団療育のメリットなどについて考える機会を設けて、実現させていく為にはどうしたらよいか、他の校舎の例を参考に、少しでも実現につながるような手段を考えていきたいです。特に年長さんでは就学に向けての取り組み(集団生活にむけたもの)もある為、実現可能な所から検討したいです。
2	保護者同士の交流が少ない	要因として本校ではお勤めになっている保護者の方も多く、時間の都合が合わない為、保護者交流の機会を設けることが難しいことがあげられます。	保護者間交流に参加することで提供できるメリットを考えます。また保護者様からの希望を伺い、参加したいと思われる集まりの実現に向けて行きたいです。また小さなごきょうだいがいらっしゃることもあるのでそういった点も含めて参加しやすい環境作りを検討したいです。
3	情報・制度の周知不足	まずは職員自体の知識の不足が考えられます。また、何か発信したい情報がある時は、掲示をしていますが、それが上手く保護者様に伝わっていない可能性が考えられます。	各情報についてまず職員が理解を深めることができるように、職員内で再確認、再周知をします。また可能であれば事業所内で自主的な学習会を行う事も検討します。保護者様にはその都度、掲示、口頭、SNSなどを利用し周知を徹底していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室きらり名古屋校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 11名

回収数 11

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				広いスペースを確保して頂いています。	今後も利用者様が伸び伸びと活動できるように努めてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10		1		職員数が減り30分以上の延長ができなくなったと説明されたのでまた延長しているの1対1で手厚く見て頂いています。	申し訳ありません。法令で必要とされている配置数は満たしていますが、それ以上の職員を確保できず現状延長が難しい状況となっております。また実施できる状況が整いましたらお知らせしていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		1	広い部屋を区切る形で分かりやすい環境になっていると思います。階段の上り下りが必要だと待機列ができてしまう時があります。	ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。今後も就学前のお子さんには階段の上り下りを必要としないう部屋を提供させていただきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				子どもの過ごしやすい空間だと思います。	今後も利用者様の安全確保に努めながら、継続してまいります。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	子ども1人1人に合わせた支援をしています。子供の事を沢山理解していただいているのかたくさん共有できると嬉しいです。	情報共有が行き届いておらず申し訳ありません。フィードバックにて必要な情報を共有できるよう今後も努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1 (※無回答1)	そのように思います。	今後も継続してまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				面談での聞き取りや普段の子どもの様子も見つらうで計画を作成して頂いていると思います。	今後もモニタリングを実施しながら必要時には情報を共有させて頂き、個別支援計画の作成に努めてまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			5 (※無回答3)	移行支援ってなんですか。	説明不足で申し訳ありません。必要時には保育所や幼稚園、小学校等との間で支援内容の共有や情報共有を行ってまいります。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2	そのように思います。計画に書いたようになってほしいのかの姿に近づくためにどんな事をしているのかわからない。	説明不足でご迷惑をおかけしており、大変申し訳ありません。毎回のフィードバックにてお子様の状況や支援の目的をより詳しくご説明できるよう、心掛けてまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			2	毎回内容を変えて楽しく取り組めるように工夫して頂いています。	今後もお子さんが楽しいと思えるような時間となるよう工夫して支援を提供してまいります。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		4	4 (※無回答1)	放課後等デイもやっている事業所さんは小学生の他の子どもも活動しています。いい刺激になります。	本校は個別活動が主となる為、現在集団は行っておりません。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				はい。	今後も継続してまいります。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1			はい。	今後も継続してまいります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	7	私が参加していないだけかもしれませんが。研修会や保護者の方々と話し合いの場を提供いただいています。存在しているけど利用できないことが多いです。毎回フィードバックして頂いています。	現在本校では実施することができていません。必要時には開催を検討していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				1		今後も保護者の方と密に情報共有を継続し、丁寧なフィードバックを心掛けてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			4 (※無回答1)			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					そのように思います。	今後も継続してまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			2	7	私が参加していないだけかもしれませんが。兄弟同士はわかりません。	現在本校では実施していません。必要があれば開催を検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			4	迅速にご対応いただいていると思います。	今後も継続してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				そのように思います。	今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			3 (※無回答1)	ラインやインスタを発信して頂いています。	ありがとうございます。今後も随時、ブログ・Instagram・LINEで情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1	そのように思います。	今後も継続してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			2	訓練している所としているか分からない所があります。	周知不足で申し訳ありません。校舎内に毎月訓練内容を掲示させて頂いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			5	おかげさまで今のところそういったことがありません。	ありがとうございます。今後も利用者様が楽しく安全に通所して頂けるように、職員一同努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				子どもも親も安心して通所しています。	ありがとうございます。今後も利用者様が楽しく安全に通所して頂けるように、職員一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				楽しく通わせて頂いています。仲良しの先生、やりたいプログラムを楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も楽しんでご来所頂けるよう、職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			とても満足しています。いつもありがとうございます。	いつもきりりの活動にご協力いただきありがとうございます。今後も利用者様にあったプログラムを検討し、提供してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室きらり名古屋校	公表日	2025年 2月 15日
------	------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		支援時間の利用者数にあわせて支援を提供できています。	人数が多くなってしまふ場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の音が気になってしまうことがあります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		一日の定員数を支援できる人数配置がなされています。	職員数は適切ですが、もう1人確保できると支援可能な時間（延長等）も検討できるかもしれません。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	療育室内は装飾等を無くす事で視覚的情報を減らしています。カーテンやパーティション等で空間の区切りもできています。	玄関に段差があることや、風が強い時に勢いよくドアが開いてしまうことがあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		運動・机上活動共に問題なく行える環境がつけられています。	人数が多くなってしまふ場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の音が気になってしまうことがあります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		利用児童の状態に応じた場所の使用ができる状態となっています。	人数が多くなってしまふ場合には部屋をパーティションで区切っている為、隣の音が気になってしまうことがあります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		各業務について職員間で共有しながらPDCAサイクルを守ることができています。	特に問題ありません。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の方から頂いた意見はミーティング等で共有し、改善を図るようにしています。	改善が必要なものは話し合い、解決できるように進めていきたいです。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼や随時職員会議等で意見の交換はなされています。全員が揃っていない場合にも社内メールなどを利用して全員が把握できるようにしています。	休みの人がいると伝わりきらないこともあるので、今後も社内メールなどを活用して行きたいです。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		社内で内部監査を行っています。	第三者評価は行っていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月に1回の研修や年に3回の事例検討会等で療育に対する知識・技術を深められるよう取り組んでいます。	特に問題ありません。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所HP内ブログ記事にて公表している他、事業所内で掲示しています。	今後社内で公表方法を統一していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント等で親御様のニーズ・課題等を聞き取り個別支援計画を作成しています。	特に問題ありません。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援を担当する指導員が参加し、その子に必要な点をサポートできるよう話し合いが行われています。	利用者様によっては、指導員と個別支援計画作成者が、普段から情報を共有できていない場合もあります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画の内容については各職員が自由に閲覧できる状態であり、内容の共通理解がなされています。	担当以外の利用者様の様子を見るのが好きない為、全てのお子さんの状況を把握しにくいことがあります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		子どもの状態について多角的な視点でアセスメントする事ができています。	特に問題ありません。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		報酬改定による追加項目について留意しながら支援計画を作成できています。支援内容についても明記されているものが多いです。	「地域支援・地域連携」はできていません。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別支援計画は支援を担当する指導員が主となり児発管との意見交換で作成しています。	個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することもあります。必要時には職員内で相談する機会も設けています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		当日の利用者様の様子や発達の段階に応じた支援課題を用意して支援を行っています。	お子さんによってはプログラムが固定化されているお子さんもいます。ただ、その都度保護者様と情報を共有しながら進めています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	イベントや必要に迫られた場合のみ実施している状態です。	個別活動が基本となる為、現在集団活動は行うことができていません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	支援内容については各指導員で決めているので内容の確認は行っていません。ただ、他の指導員の手を必要とする場合は事前に打ち合わせを行っています。	ミーティングは毎日行い情報共有に努めていますが個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することもあります。必要時には職員内で相談する機会も設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	終礼等は行っていませんので、支援の振り返りは翌日以降に行っています。	必要時には社内のチャットツールを利用し、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり、見直すことで利用者様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容を方法を更新しています。	特に問題はありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを行い、利用者様の発達に合わせた個別支援計画を作成しています。	特に問題はありません。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当指導員がサービス担当者会議に参加し、利用者様の情報について関係機関と共有しています。	必要時には園訪問を実施するなどの活動に努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	関係機関と連携を取ることができるような体制を整えています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	希望のあった利用者様には園訪問を実施して、情報共有に努めています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	関係学校と連携をとり、情報共有を行う機会を設けています。	全ての利用者様で実施ができていないことがあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	○	研修の場などを利用して助言頂くことがあります。	特に問題はありません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在交流する機会がありません。	ご来所頂いている利用者様以外のお子さんと関わるのが難しい状況です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後には保護者様とフィードバックをさせて頂き、発達の状況や課題についてその都度共有させて頂いています。	特に問題はありません。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	必要に応じて支援後のフィードバック時にご家庭での対応方法についてアドバイスをしています。	研修の機会は現状取組むことができていません。適時必要な時には開催を検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	特に問題はありません。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際、お子様の最善の利益を考慮しつつ、お子様、保護者様のご意向を確認する機会を設けています。	特に問題ありません。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ています。	特に問題はありません。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて支援後のフィードバック時にご家庭での対応方法についてアドバイスをしています。	短い時間での共有になってしまう時もあります。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	以前はママカフェを定期的で開催していましたが、現在行えていません。	ご要望に応じて再度開催を検討いたします。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で共有をし、対応できるようにしています。	特に問題はありません。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	○	HP、LINE、Instagram、ブログを活用し、発信させてもらっています。	発信はしていますが周知が行き届いていない時があります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類等は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	特に問題はありません。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お客様、保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達ができるように配慮しています。	特に問題はありません。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在実施できておりません。	必要があれば、交流する場を設けることができるよう検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	訓練を実施することはできていますが、周知できていない時があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、訓練を実施しています。	訓練を実施することはできていますが、周知できていない時があります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかん発作等の確認をし、職員内で情報を共有しています。	特に問題はありません。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	対象のお子様については、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意していきます。	通常食へ物は扱っていませんがイベントの際にお菓子を配布することもあるので、保護者の方にはアンケートをとり、職員内で共有はしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、それに従って安全管理をしています。	特に問題はありません。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		随時保護者の方への了承を頂いた上で、お子様と一緒に防災訓練を実施しています。また避難経路等を校舎内に掲示しています。	取り組みについての周知ができていないことがあるので実施していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こりそうな場所について職員間で話し、未然に防ぐよう留意しています。起こった際は報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。	特に問題はありません。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のマニュアルを作成したり、職員全員で研修を受けたりして、虐待防止に努めています。	特に問題はありません。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載した上で説明、了承をいただきます。	特に問題はありません。	